

稲田の子

一日でも早い復旧をお祈りします

校長 棚澤 実

8月30日からの強い雨と風、そして、縦断しました台風10号による被害が数多く報道されております。市内小中学校では、臨時休校となり、避難場所として開放された学校もありました。保護者や地域の皆様には、臨休にかかわる対応等、ご協力ありがとうございました。

台風10号は、水道の断水や停電、道路やJR等、大打撃を与えています。改めて自然の猛威を感じざるを得ません。「北海道だから、十勝だから大丈夫」とは言えない数々の出来事を目の当たりにし、やはり日頃より防災に関する知識や行動についての深い理解や訓練等が必要であると認識した次第です。

被害に遭われました皆様への御見舞と、そして、一日でも早い復旧を心よりお祈りいたします。



先生も勉強！！

8月29日に、学校教育指導訪問がありました。これは、毎年全ての学校で行われているものです。

今後の教育活動の充実・改善に生かす目的で、十勝教育局と帯広市教育委員会の指導主事の方々をお招きし、本校教員の授業を参観いただくとともに、教育活動全般に渡って指導や助言を得るためのものです。

今回、本校では、8時20分から17時30分頃まで、訪問活動が行われました。

訪問された方を紹介します。

十勝教育局からは、教育支援課義務教育指導班主査 吉村 公孝様が、帯広市教育委員会からは、学校指導担当部長 橋場 仁様と学校教育指導室指導主事 新井 英樹様と、教育研究所指導主事 多治見 忠様です。

限られた時間ではありましたが、全ての学級の授業の様子を参観していただきました。課題もありましたが、本校の様々な取組に対する今後の期待について熱く語っていただきました。

嬉しかったことは、本校の先生方の真摯な取組について評価をいただいたことです。

(写真: 2の1 音楽研究授業 篠原・佐藤両教諭の授業から)



友情とは

今回は、「友情」について少し考えてみたいと・・・。

「友情」は、子どもたちにとって大きな関心ごとです。仲のよい友だちがいる、いないなどで、楽しさも変わってくるなどと話す子もいるほどです。このようなことから、特に思春期を迎えた子どもたちにとっては、「友だちと喧嘩しました。」「友だちが前よりも冷たくなった。」などと、友だち関係で悩むことも多くなります。「友情」にかかわる悩みはいつの時代でも尽きないですね。

しかし、このような悩みがあるからこそ、人間関係を学ぶこともできるわけですね。

「友だち」って、何でしょう？ 知っているから友だち？ 一緒に行動するから友だち？ 友情？

大切なことは、皆さんもおわりの通り、「友だち」とどんな気持ち、心でかかわっているのか、また、つながっているのかということですね。よくなんとなく「つるむ」なんて言葉もありますが、そういう意味ではなく、大事なことは、本当の真の友情は、お互いに成長し合うものであるということです。既刊の学校便りでも触れていますが、信頼とか尊敬、誠実でつながる友だちができれば、最高ですね。

いなっ子ワールド。土曜開催中。

月に1～2回の土曜日の午前中(9:00～12:00)に、市の子どもの居場所づくり事業「いなっ子ワールド」を開催しています。毎回地域の生涯学習推進委員(いなっ子応援隊)のみなさんがボランティアとしてお世話いただいています。自由遊びが中心となりますが、学校にある器具等を利用して、楽しい時間を過ごすことができます。申し込み不要。親子での来校も大歓迎です。どうぞご利用ください。なお、次回の予定は9月24日(土)。この間、9月12日(月)には「いなっ子ワールド放課後版(案内済)」も予定されています。

9月2日十勝毎日新聞から。
今年も快挙。全道一の実績は保護者・地域のみなさんのご協力のたまもの。引き続きのご協力をよろしくお願ひします。

ボランティア委員会の取組

稲田保育園に出向き、子どもたちと交流を深める児童会ボランティア委員会の企画が今年も行われました。活動を校内にとどめず、進んで地域に飛び出し、これまでも河川敷のゴミ拾い等、活発な活動が繰り返されていっています。



10万9000点で返り咲き



集まったベルマークを点数、品目ごとに分ける作業に当たる委員

教育

卒業者の保護者や、地域住民からベルマークが届くことも多い。3度目のトップの座に渡邊委員長は「全道一位は感謝していただける皆さんと委員の努力のたまもの」と感謝している。(松田由世)

稲田小学校(稲澤校長、児童640人)の2015年度のベルマーク集票が10万9098点となり、2年ぶり3度目の全道一位に輝いた。ベスト10には帯広柏小3位・8万8242点、帯広啓西小(5位・7万9785点)の市内3校が入った。「みんなで集めようベルマーク」を台座に活動を展開している稲田小学校の取り組みを紹介する。

稲田小ベルマーク全道一

「便り」で情報発信
全道から1310団体が増加した。稲田小は児童数が十勝管内で最多になった2002年度に発足したベルマーク委員会(渡邊千恵子委員長、38人が中心となって活動。11年度には累計集票点数が500万点を超え、ベルマーク「便り」の発行をの周知

2015年度全道順位	学校名	集票点数
1位	稲田小	10万9098点
2位	帯広高	9万9288点
3位	帯広柏小	8万8242点
4位	帯広東小	8万1087点
5位	帯広啓西小	7万9785点
11位	帯広栄小	7万0036点
40位	帯広緑丘小	4万8028点

児童会集會委員会が毎年この時期企画している全校集會は全校でゲーム等を通してふれあいを深めるもので、過日開催されました。恒例の音楽クラブの演奏もあり、全校に笑顔があふれました。

全校集會

写真：全校集會の様子から。



交流DAY③

今年度3回目となる全校異学年集団のふれあい活動「交流DAY」が開催されました。学級学年の枠を超えて、一緒に給食をとったり、6年生が中心となってレクリエーションを企画して一緒に遊んだり、楽しい時間を過ごしました。